

未来のリーダーを育成します

2019 年度
前期

ものづくり人材 スキルアッププログラム 受講生を募集します!



文部科学大臣認定



Brush up Program
for professional

職業実践力育成
プログラム

本プログラムは、「職業実践力育成プログラム」の認定を受けています。

「職業実践力育成プログラム」とは、大学等が行う、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムのことです。

- ものづくり企業の実務家による**確かで質の高い指導**
- **充実の補助制度**により、少額の費用負担！
- 講師が**あなたの会社へ出向く**出前講座もあります！

■ものづくり人材スキルアッププログラムとは

ものづくり企業の従業員を対象にした、ものづくりに必要な知識を一貫して体系的に学ぶ事ができる実践的な教育プログラムです。本プログラムは、ものづくり企業の実務家が講師となり、即戦力を育成します。

■各プログラムの概要

- 全3コースのうち、希望のコースをお選びください。

生産管理技術コース **Aコース**

- ・基礎を体系的に学び直したい人・初任者向けの講座です。
- ・企業活動の戦力となる人材を育成し、現場における生産管理技術スキルをマスターできるコースです。

工場経営管理コース **Bコース**

- ・営業・マネージャー・海外赴任者向けの講座です。
- ・企業の中心的立場で企業活動をマネジメントする人材育成を目的としています。マネージャーとして必要な専門知識、管理スキルをマスターできるコースです。

総合コース (Aコース+Bコース) **総合コース**

- ・企業の中心的立場で現場を含めた総合的なマネジメントを行う人材の育成を目的としています。企業活動における管理監督を目指すには、最適なコースです。開講すべての科目を履修します。

※履修証明書交付対象コース

- 出前講座もあります。

出前講座 **出前講座**

- ・企業の抱える課題は様々です。
- ・本プログラムの講師が、その企業独自の課題にあった講座を企業に出向いて実施いたします。事前に、講座内容、開設期間、時間帯について、講師と相談して決めていきますので、お気軽にご相談ください。

■募集期間

2019年3月1日(金) ▶ 4月15日(月)

■対象者

ものづくり企業に勤務する者で、
高等学校卒業以上の者

■受講期間・場所

2019年5月17日(金) ▶ 9月2日(月)
毎週月・木・金及び毎月第2・4火曜日の午前中
時間：1時限目 8:45~10:30
2時限目 10:45~12:30

場所：公立小松大学 中央キャンパス (小松市土居原町10番地10)

8:45 10:30 10:45 12:30

| | | | |
|---------|----|---------|---------|
| 授業：1時限目 | 休憩 | 授業：2時限目 | 職場に戻り勤務 |
|---------|----|---------|---------|

午前中に2時限の講義を行い、午後からは職場に戻り通常勤務といったサイクルになります。

受講生の声

- ・他社工場の見学、他企業メンバーとのディスカッションで新しい発見がたくさんありました。
- ・自社に必要なものが見えてきました。
- ・現場で役立つ実践的な内容が豊富で、もっと学びたくなりました。
- ・丁寧な指導とフォローのおかげで、たくさん知識が増えました。

企業側の声

- ・仕事に取り組む姿勢が変わりました。
- ・部下への指導が丁寧になりました。
- ・自社では学習できない科目であり、将来管理職に就いた際に役に立つと思います。

■ カリキュラム

- 生産管理技術コース（Aコース）※下記8科目すべてを受講します。

| 科目名（担当講師） | 時限数 (1時限 105分) | 内容 | Aコース |
|-----------------|-------------------|--|------|
| 生産管理（山野 一郎） | 10 | 演習を行い、事例を紹介しながら生産管理全般、生産計画の進め方、生産管理に必要な各種管理について、分かりやすく学習する。 | |
| 原価管理・初級（木村 保一） | 6 | 原価活動を始めようとする時に、遭遇する様々な課題をできるだけ分かりやすく解説する。原価管理の基本となるコストとは何かを理解する。 | |
| 品質管理（林 潔） | 10 | 品質管理（TQM）の多岐にわたる基本事項を学び、現場に顕在・潜在している問題点・課題に対して、その改善ステップの実施能力を身に付ける。 | |
| 安全管理（林 國夫） | 6 | 企業における安全衛生管理に関する諸活動のうち、日常的な活動について具体的な取り組み方を学び、職場のリーダーとしての必要な能力を身に付ける。 | |
| 環境管理（西村 三郎） | 4 | 環境問題の現状と将来の動向、環境問題が企業経営にどのような影響を与えるか大局な観点から環境問題を理解する。 | |
| 企業人のスキル（石井 伸太郎） | 6 | ものづくり企業人としての業務推進の基本を学習する。自社の現状と今後のあるべき姿を踏まえ、改善改革へとつなげる。 | |
| 生産課題演習（前川 要） | 10 | 全員参加型の相互学習で問題解決型の実践学習を通して、問題意識の向上や解決能力を身に付ける。 | |
| 生産技術（能戸 政幸） | 10 | 事業計画を達成するため、「工場コストダウン活動」をテーマに、生産技術的改善手法に基づき、工場内の問題点を効果的に解決できる能力を身に付ける。 | |
| 合計 | 62 | (受講時間数 108時間) | |

- 工場経営管理コース（Bコース）※特定の科目を選択して受講することもできます。

| 科目名（担当講師） | 時限数 (1時限 105分) | 内容 | Bコース |
|--------------------|-------------------|---|------|
| 方針管理（中川 秀一） | 8 | 方針管理の歴史的歩み、方針の立案と展開、推進体制、戦略構築の手法を学び、具体的な実施計画や点検・評価を効率的に行う能力を身に付ける。 | |
| 経理・財務管理（山岸 康也） | 8 | ものづくり中小企業の管理監督者として、経理・財務管理の基本を学習する。自社の事例をケーススタディーして、問題・課題、改善方向性を見いだす。 | |
| マーケティング・ICT（生野 勝美） | 12 | マーケティング活動、ICT化の戦略、方策を理解する。改善・改革の方策を推進するにあたってプランを立案し、プロジェクトマネジメントについて学習する。 | |
| 人材育成・能力開発（石井 伸太郎） | 4 | ものづくり中小企業の管理監督者としての人材育成・能力開発の進め方を学習する。実務的な能力開発（職業能力遂行力）を身に付ける。 | |
| 原価管理・中級（木村 保一） | 6 | コスト改善に遭遇する様々な課題を理解し、コスト改善活動を中心に「開発段階からのコスト低減～コスト改善」までを学習する。 | |
| 合計 | 4~38 | (受講時間数 7~67時間) | |

- 総合コース（Aコース+Bコース）

| 科目数 | 時限数 (1時限 105分) | 内容 | 総合コース |
|--------------|-------------------|-----------------------|-------|
| Aコース、Bコースすべて | 100 | 文部科学省認定「職業実践力育成プログラム」 | |

- 出前講座

| 科目数 | 時限数 | 内容 | 出前講座 |
|--------------|------|-----------------------------|------|
| 開講している科目から選択 | ※要相談 | 依頼企業の課題や要望に応じ、講師と相談して決定します。 | |

■ 受講費用

- 受講する科目数等に応じて、受講料・テキスト代が必要となります。

| コース名 | 受講料 | テキスト代 |
|-----------|----------------------|------------------------|
| 生産管理技術コース | 186,000 円/人 | テキスト代: 1 科目約 2,000 円/人 |
| 工場経営管理コース | 14,000 円～133,000 円/人 | |
| 総合コース | 319,000 円/人 | |
| 出前講座 | 15,000 円/時間 | |

■ 補助制度

- 人材開発支援助成金（厚生労働省）

従業員のキャリア形成をサポートするための助成金です。

本プログラムの総合コースは厚生労働省の専門実践教育訓練に指定されており、「人材開発支援助成金の特定訓練コース」の適用となります。受講費用については 45%、研修受講中の賃金については 1 時間あたり 760 円の助成を受けることができます。また A コース、B コースについても要件を満たしている場合、「人材開発支援助成金の一般訓練コース」の適用となり、受講費用については 30%、研修受講中の賃金については 1 時間あたり 380 円の助成を受けることができます。

助成金を受けるには受講 1 カ月前までに、石川県労働局職業対策課に申請する必要があります。

お問い合わせ先 厚生労働省 石川労働局 職業対策課 TEL:076-265-4428

- ものづくり人材スキルアッププログラム支援事業補助金（小松市）

ものづくり現場で必要とされる幅広い専門知識をもつリーダーを育成するため、小松市の中小企業に対し、経費の一部を補助します。人材開発支援助成金を差し引いた受講費用の 25%が小松市より交付されます。

お問い合わせ先 小松市 産業未来部 商工労働課 TEL:0761-24-8074

■ 補助制度を利用した場合の受講料について

- 小松市の中小企業に勤務している方で、総合コースを選択した場合の受講料

受講料とテキスト代 約 351,000 円のうち

| | | |
|-------------------------|---------------------|---------------------|
| 人材開発支援助成 約 291,000 円 | 小松市助成 約 15,000 円 | 企業負担額 約 45,000 円 |
|-------------------------|---------------------|---------------------|

「人材開発支援助成金」と「小松市助成金」を利用すれば、**2 割弱の費用負担**で受講できます。

※但し①雇用保険適用事業所であること。②年間職業能力開発計画を作成し、労働者へ周知していること。③職業能力開発推進者を選任していること。④職業訓練期間中も通常の賃金を支払っていること。⑤対象経費を事業主が全額負担していること。等の要件があります。

■ 本プログラムに関するお問い合わせ先



公立小松大学
地域連携推進センター

〒923-8511 石川県小松市四丁町又 1-3
TEL : 0761-41-6700 FAX : 0761-44-3506
E-mail : community@komatsu-u.ac.jp